

5月1日号から

広報とわだの

「お知らせ」コーナーを

リニューアル!

◆コーナーを細分化

「お知らせ」コーナーは現在、主に《暮らし》、《募集》、《催し》の3コーナーですが、新たに《講座・教室》、《市民の広場》、《月ごとの各種相談》のコーナーを設け、全6コーナーに分けて情報をお伝えします。

◆コーナーのデザインを一新

新たなコーナーを設置することを踏まえて各コーナーの標題などを見やすいように工夫します。

広報とわだの「お知らせ」

コーナーをご利用になる場合

「お知らせ」コーナーに催しや参加者募集など情報の掲載を希望する場合、次の方法により提出してください。ただし、スペースの都合で掲載できない場合があります。

▼掲載手続き方法

掲載依頼書に基づき、市役所の関係部署を経由して依頼するか、関係部署がない場合は直接、総務課広報男女参画係へ提出してください。

掲載依頼書は、市ホームページからダウンロードできるほか、総務課や公民館などの施設に備え付けてあります。

▼原稿の締め切り

掲載を希望する号が発行される日の30日前までに原稿を提出してください。ただし、締め切り日前に提出した場合でも必ず掲載になるとは限りませんので、ご了承ください。

▼《市民の広場》のご利用について

今回新たに設ける《市民の広場》には、広報手段を持たない市内の各種団体やサークルなどの活動を支援するために、会員募集、参加者募集や催しの案内などを掲載する予定です。詳しくは、市ホームページの『広報とわだ「市民の広場」掲載のガイドライン』をご覧ください。

▼その他

▽掲載できない事項▽掲載回数▽ご利用になるかたへの了解事項などは、市ホームページの『広報とわだ「お知らせ」欄掲載のガイドライン』をご覧ください。
※「広報とわだ」に掲載したい情報がありましたらお気軽にご連絡ください。
※各ガイドラインは総務課にも備えて付けています。

問 総務課広報男女参画係

☎ 6702



とわだの文化財 1 ~十和田市の文化財を紹介するコーナーです

問生涯学習課 ☎ 2313

ほっしんづか
法心塚と
けさ
袈裟掛けの松

十和田市では、昔から法心（法身）禅師に係る伝承が語られ、史跡や仏像・彫刻等も残されている。法心塚や袈裟掛けの松もそのひとつである。



法心塚「開山法心諸大和尚」の卵塔



袈裟掛けの松

洞内集落の北側に、昭和四十年に十和田市文化財に指定された「法心塚」がある。これは鎌倉時代の名僧・法心禅師が埋葬された墓所といわれている。

伝承では、法心禅師は茨城県真壁城主の下僕の頃、誤解を受けて木履で眉間を割られ、これを契機に仏門に入り、やがて修行のため宋に渡った。帰朝後、時の執権北条時頼の知遇を得て、松島円福寺（現・瑞巖寺）の住持となった。その後、七戸町倉岡で隠遁生活を送っていたが、洞内由之進の要請を受けて法連寺を開山したと伝えられている。

法心塚の一番奥には、かつて仕えた城主・道無の卵塔（大正四年建立）、中央に「法身性西大和尚禅師」（年記なし）、手前に「開山法心諸大和尚」（応仁二年十月十二日建立）銘の卵塔がある。

また、国道四号を北に向かつて、砂土路川の橋より西南100m辺りに「袈裟掛けの松」がある。法心禅師が客僧たちのために田を耕し、袈裟を掛けたものという。今ある松は幕末に植えた二代目と言われている。

法心禅師の伝承は、もちろんすべてが史実ではない。禅師の墓所といわれるものが、真壁の伝正寺にもある。伝承を科学的に究明することはわたしたちの大事な課題でもある。

（文責：市文化財保護協会）